

# 千葉港、身近に感じて

## 「海と日本プロジェクト」開会

### あす 港内周遊や見学など

日本有数の巨大貿易港を身近に感じてもらうと、「ちば港を知ろう！海と日本プロジェクト」(海の月間活性化委員会主催)の開会式典が5日、中央区中央港の千葉港中央埠頭(ふところ)で行われた。

同プロジェクトは7日まで開催。千葉港は貨物取扱量全国2位を誇るが、9割が企業敷地で人々が身近に接する機会が少なかったことから、イベントが企画された。期間中は汽船練習船「大成丸」(全長約91メートル)の見学や観光船あるめりあに乘っての港内周遊、冷凍倉庫の見学などが楽しめる。

開会式には同港や市の職員、同港親善大使「ポートクイーン千葉」など約30



手回し発電機を回して=5日、美浜区の幕張

「GO ソラシヤンプ」や3種類のフライトシミュレーターなど展示が充実。著名な気象予報士によるトークショーも開かれる。問い合わせは同社043(299)2424。

を結び、ぶのは館山市に続き2番目。

市経済企画課によると、市と同局はこれまでにも障害者向けの就職面接会など雇用対策事業で連携してきたものの、それぞれ単独で



ポートクイーン千葉の松尾さん(右)から奥船長に記念盾が手渡された=5日午前、千葉港中央埠頭

0人が出席。初入港した大成丸を、日本海洋少年団千葉市連盟の子どもたちが手旗信号で歓迎するなど、盛り上がりを見せた。

式中盤にはポートクイーン千葉の松尾優里さん(22)が、大成丸の奥知樹船長(50)に記念盾を贈呈。松尾さんは「千葉港は貿易船だ

けでなく、旅客船など多様な船が来る楽しい港。みなさんに素晴らしい港を知ってほしい」と、プロジェクトの成功を祈った。

奥船長は「この千葉の港は鎌倉時代より前からの歴史がある」と聞いている。ぜひ多くの人に来てほしい」と話した。

十分だ。

家族5人で来場した柏市立柏第八小1年の富永康徳君(7)は、木の上で眠るライオンをクレヨンで描き、入選した。富永君は「入選

「大人の手が加えられていないもの」が審査基準の一つとなっているため、作品から子どもたちのありのままの気持ちを感じ取ることができると話した。

クレヨン、色鉛筆などで描かれた絵は、どれも魅力

感性や発想力豊かに世界児童画展37点 市民ギャラリーいなげ 子どもたちの絵画作品を集めた「世界児童画展―千葉展―」(美育文化協会主催)が、市民ギャラリーいなげ(稲毛区稲毛)で開催されている。県内の3歳から中3の入賞作品を中心に、海外作品も展示。感性や発想力が豊かな子どもたちが描いた作品377点が、来場者の目を楽しませている。7日まで。

を知った時はびっくりした」と話し、ほかの子ども作品も興味深そうに眺めていた。

世界児童画展は今年で46回目。今回は国内から約5万1千点、世界各国から計約2万6千点の応募があり、県内では310点が入賞した。

午前9時〜午後5時15分(最終日のみ午後3時まで)。観覧無料。問い合わせは同ギャラリー043(248)8723。



開催中の「世界児童画展―千葉展―」稲毛区の市民ギャラリーいなげ



皆さまからの情報をお待ちしております。  
E-mail c-nippo@chibanippo.co.jp

編集局

TEL 043(222)9215

FAX 043(224)7001

総務局

TEL 043(222)9211

FAX 043(227)2094

販売局

TEL 043(227)0077

FAX 043(225)8241

広告局

TEL 043(227)0055

FAX 043(222)6540

●記事に関するお問い合わせ  
043(222)9215

千葉市消防局出動状況

火災 0件  
救急出動 191件  
4日午後3時〜5日午後3時  
043-2223-1119